

## 平成 28 年度 第 11 回国際資源学研究科執行部会議議事要旨

日 時：平成 28 年 11 月 14 日（月）15:00～16:08

場 所：国際資源学部 1 号館 2 階会議室

出席者：佐藤研究科長（議長）、宮本、安達、今井、大場、藤井各委員

欠席者：柴山委員

### 議 事

#### 1. 平成 28 年度第 10 回執行部会議議事要旨の確認

第 10 回執行部会議の議事要旨が確認された。

#### 2. 平成 29 年度非常勤講師採用計画・講義実施計画について

研究科長から資料 2 に基づき説明があり、非常勤講師を予定している場合は、期限までに採用計画等を提出されたい旨依頼があった。

#### 3. 教育学生委員会報告について

研究科長から、今後は各種委員会が開催された際には、その都度執行部会議に報告してもらいたい旨説明があった。

続けて藤井教育学生委員長から資料 3 に基づき教育学生委員会の報告があり、英語力強化を目的とした進級要件の変更に関する提案について、(1) I-EAP の単位認定要件に TOEIC スコアを設定し、当該科目を進級要件に含める事については、議長提案により英語力強化 WG で検討することとなった。(2) 留年者のフォロー体制整備及び多重留年バリアの設定等については、コース持ち帰りとなり、次回の執行部会議で決定することとなった。(3) 入学試験での英語の足切り点の設定については、入試委員会で検討することとなった。

また、転コースに関する申し合わせについて説明があり、審議の結果、了承された。

#### 4. 平成 28 年度第 7 回教育研究評議会報告

研究科長から、資料 4 に基づき第 7 回教育研究評議会の報告があった。

#### 5. 外部資金の受入状況について

滝川会計担当主査から資料 5 に基づき、外部資金の受入状況について説明・報告があり、審議の結果、了承された。

#### 6. その他

1) 研究科長から、現在紅海大学との学部間協定について資源政策コースから相談があり、内容を精査の上、持ち回りで執行部会議を開催する可能性がある旨報告があった。

2) 滝川会計担当主査から、ガストーブの使用等について注意喚起があった。

次回開催日時について、12 月 16 日（金）14 時 30 分から開催することが確認された。

以 上